

人口最少県 誰もが活躍する「人づくり王国とっとり」戦略  
～SDGsチャレンジ人財サポート



# 鳥取県の現在と2030年のあるべき姿



## ◆ 鳥取県の現在

●人口 **55.3万人** 全国最少

●高齢化率 **32.5%**

●過疎地域の面積割合 **約65%**

●県内総生産 **1兆9,080億円** 全国最小

## ◆2030年のあるべき姿

- ✓ 県内GDPは全国最小
- ✓ 女性・高齢者を含め就業率は全国上位

### 経済

- ✓ 高齢化・社会減・過疎化が進行
- ✓ 地域の絆が強い。県民の社会貢献がさかん

### 社会

- ✓ 鳥取砂丘や星空など唯一無二の自然環境
- ✓ 県民の環境保全の行動率が高い。

### 環境

個々の人財・企業の活躍最大化

パートナーシップ拡大

県民経済「全国最小」からの持続的成長

過疎・高齢化が人口減を加速する「負の連鎖」の克服

「鳥取砂丘」「星取県」を継承できる脱炭素社会への移行

小さくとも持続可能な地域「人づくり王国とっとり」



# 三側面の取組

## 経済

### 地域課題解決型ビジネス

農業DX・林業DX

物流

ドローンやGPS等デジタル技術を活用した農業・林業や物流など



### 環境共存型ビジネス

#### 新しい時代のアウトドアツーリズム



ネイチャーサウナ  
一向平キャンプ場

やまもり温泉キャンプ場

#### 鳥取砂丘月面化プロジェクト

鳥取砂丘と月面の類似性や差をデジタル技術により把握することで、砂丘を月面開発の実証フィールドとして活用可能な環境をつくります。



鳥取砂丘で  
実証試験が  
したい

⇒宇宙産業に取り組む国内外の企業等が集まり交流する拠点へ

## 社会

### 「住み続けたい」をサポート

地域出張型サービス（コネクテッドカー）

智頭町・南部町で2022年度よりサービス開始

オンライン行政手続

高齢者スマホ教室

ロコモ・フレイル予防

移動図書館

など

### 「鳥取型MaaS」



QRコードによるキャッシュレス決済や鉄道・バスの共通チケットなどの実証実験の実施

とっとり健康省エネ住宅  
(NE-ST (ネスト))



- ・住宅における国の省エネ基準を上回る県独自の基準を策定
- ・官民連携で消費者へ普及啓発を実施

### 「移り住みたい」をサポート

空き家の利活用推進

ファミリーワーケーションの推進

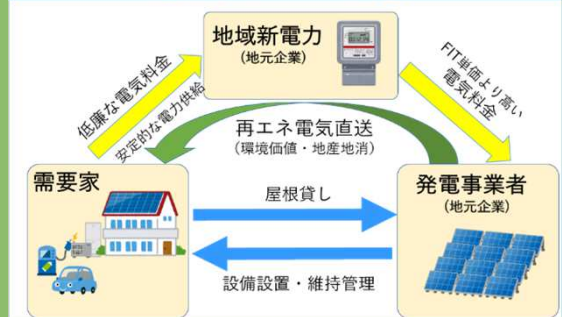
副業・兼業の推進「鳥取県で週1副社長」

## 環境

### カーボンニュートラルへの挑戦

とっとりスタイル太陽光発電

鳥取スタイルPPA(構想)



### 森林の若返り促進

- ・人工林の若返りを図るための皆伐再造林施業モデルの構築
- ・成長が早くCO2吸収量の多いエリートツリーの早期供給

### ふるさとの自然を未来につなぐ



鳥取砂丘ボラン  
ティア除草

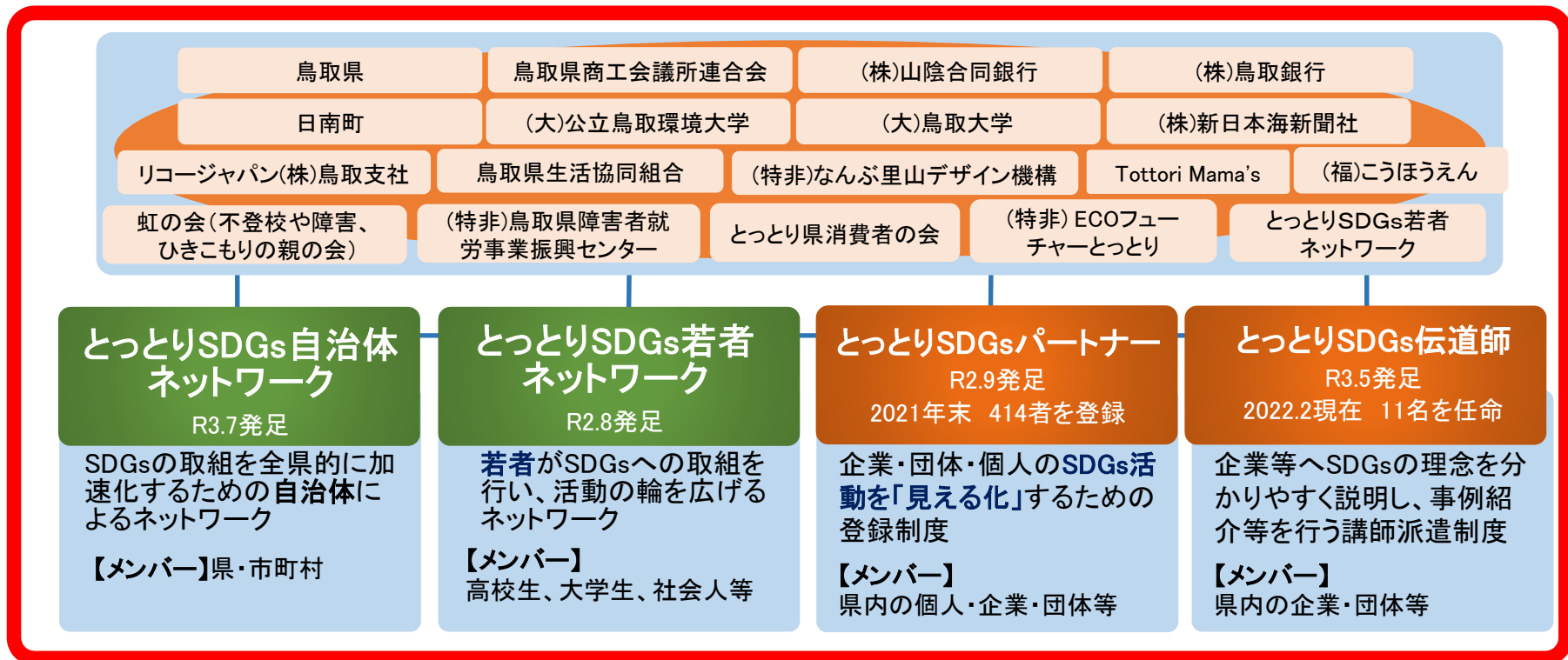
大山頂上木道  
キャリアアップ

星空観察会

山陰海岸ジオパーク  
トレイル

# 三側面をつなぐ統合的取組①

## 官民連携の推進体制 「とっとりSDGsネットワーク」



# 三側面をつなぐ統合的取組②

## ■ 人財・企業へのパッケージ支援

### STEP1：裾野拡大・理解促進サポート

#### 概要

- ESD教育による基礎の習得、伝道師制度などによる理解促進
- 普及啓発期間「とっとりSDGsシーズン」の開催

→ SDGsネットワークと連携し幅広い層（世代、職・業種）の人財・企業を育成



### STEP2：実践サポート

#### ■ パートナー登録制度の促進

#### 概要

- 県内のSDGsに取り組む企業・団体等に登録いただく宣言・登録制度。（R2.9創設）
- ポータルサイトや各種媒体での広報機会等を捉えて登録者の取組を情報発信。イベントやメールマガジン等で登録者間の交流機会を創出。**地域金融機関・県が取引先企業等へ広く制度参画を促進。**

→ 登録者数はR3年末時点で414者（うち企業・団体は397者）と順調に増加

#### ■ SDGsポイント制度による後押し

#### 概要

- R4年度にマイナポイント（自治体マイナポイント）制度と連動したプラットフォームを構築
- SDGs関連イベント参加や健康づくりの実践などにポイントを付与。

→ SDGsにつながる自律的な行動を促進

【例】SDGs実践ポイント制度



QRコード読み込みによる参加確認や、単純なGPS連動等、マイナポイントアプリで対応できるポイント制度

### STEP3：パートナーシップ・マッチングサポート

#### 概要

- **都道府県では初となる企業認証制度の創設・普及**
- 県内企業や地域・学校とのマッチングを支援（地域SDGsパートナーシップ加速化）
- 複数のプレーヤーが連携した取組の推進（パートナーシッププロジェクト、とっとりSDGsビジネスアワードの開催）

# 三側面をつなぐ統合的取組③



## ■ 都道府県では初となる「SDGs企業認証制度」～2022年4月に運用開始～

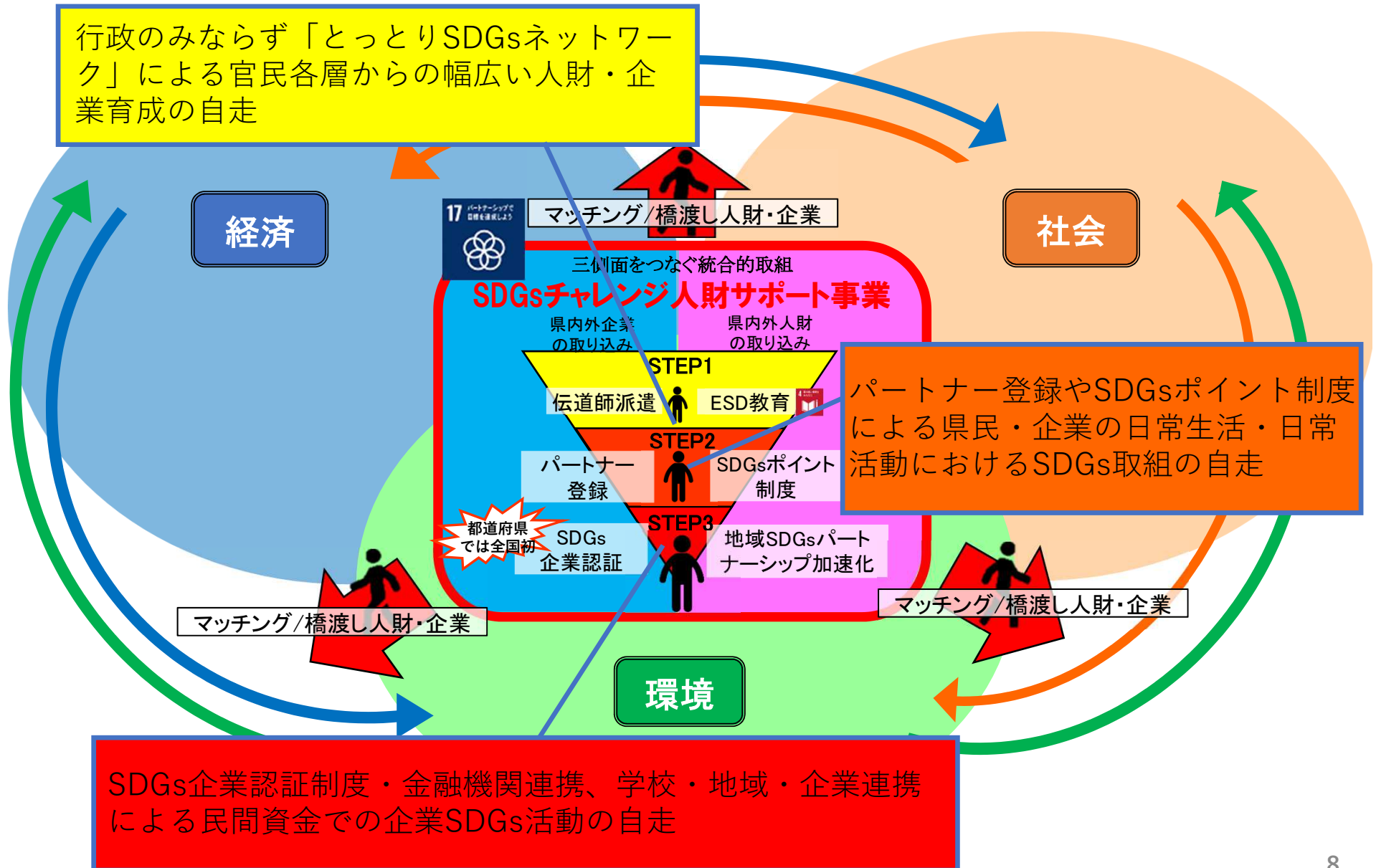
“SDGs企業認証制度”			
認証主体	鳥取県	認証対象	営利事業者
認証内容	○「環境」「社会」「経済」の3側面について、各側面10項目(合計30項目)の取組の自己チェックや目標設定をした上で申請 ○3年に1度更新(年1回の進捗報告)		
特徴	①小規模事業者でも取り組みやすい仕組み「認証支援事業者制度(仮称)」 認証申請に意欲は有するものの、認証に至らない事業者を対象とした支援制度を導入 ②チャレンジ意欲を喚起するインセンティブ <インセンティブ例> 1. SDGs経営伴走サポート サポート窓口の開設、伴走支援体制の構築(分野別専門家派遣の実施) 2. 認証事業者の取組推進 補助制度(FS調査や試作開発等を支援)、企業版ふるさと納税のマッチング支援、制度融資 3. SDGs経営転換セミナー、ワークショップ など ③認証制度としての品質保持 KPI設定・進捗報告によるPDCAサイクル構築		



### 第1回地方創生SDGs金融表彰(内閣府主催)受賞!!

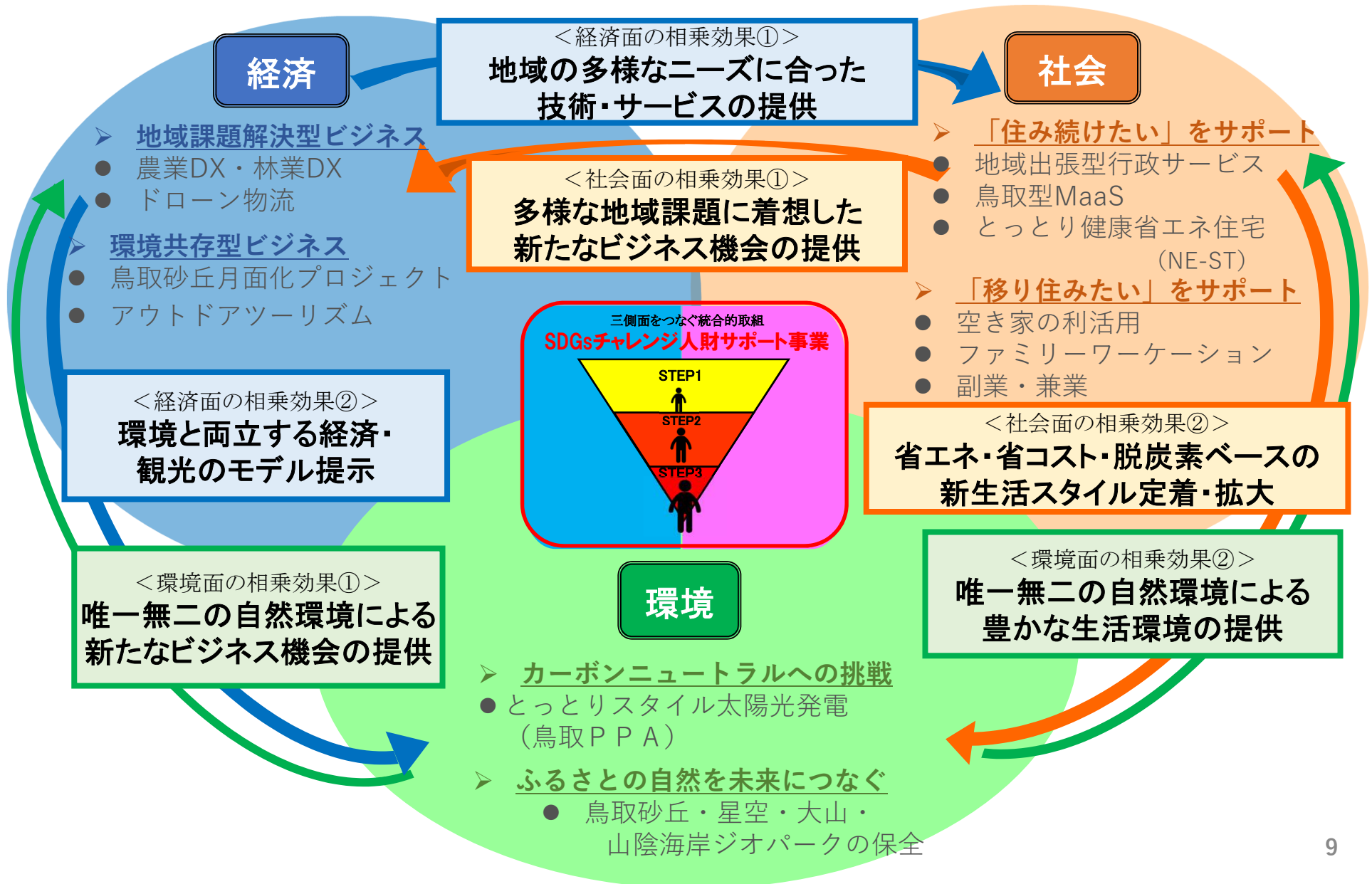
「知る」から「パートナーシップ」までリトルで利取る鳥取県版SDGsパッケージ支援  
 鳥取県・山陰合同銀行・鳥取銀行の三者共同で受賞

# 自律的好循環の具体化に向けて

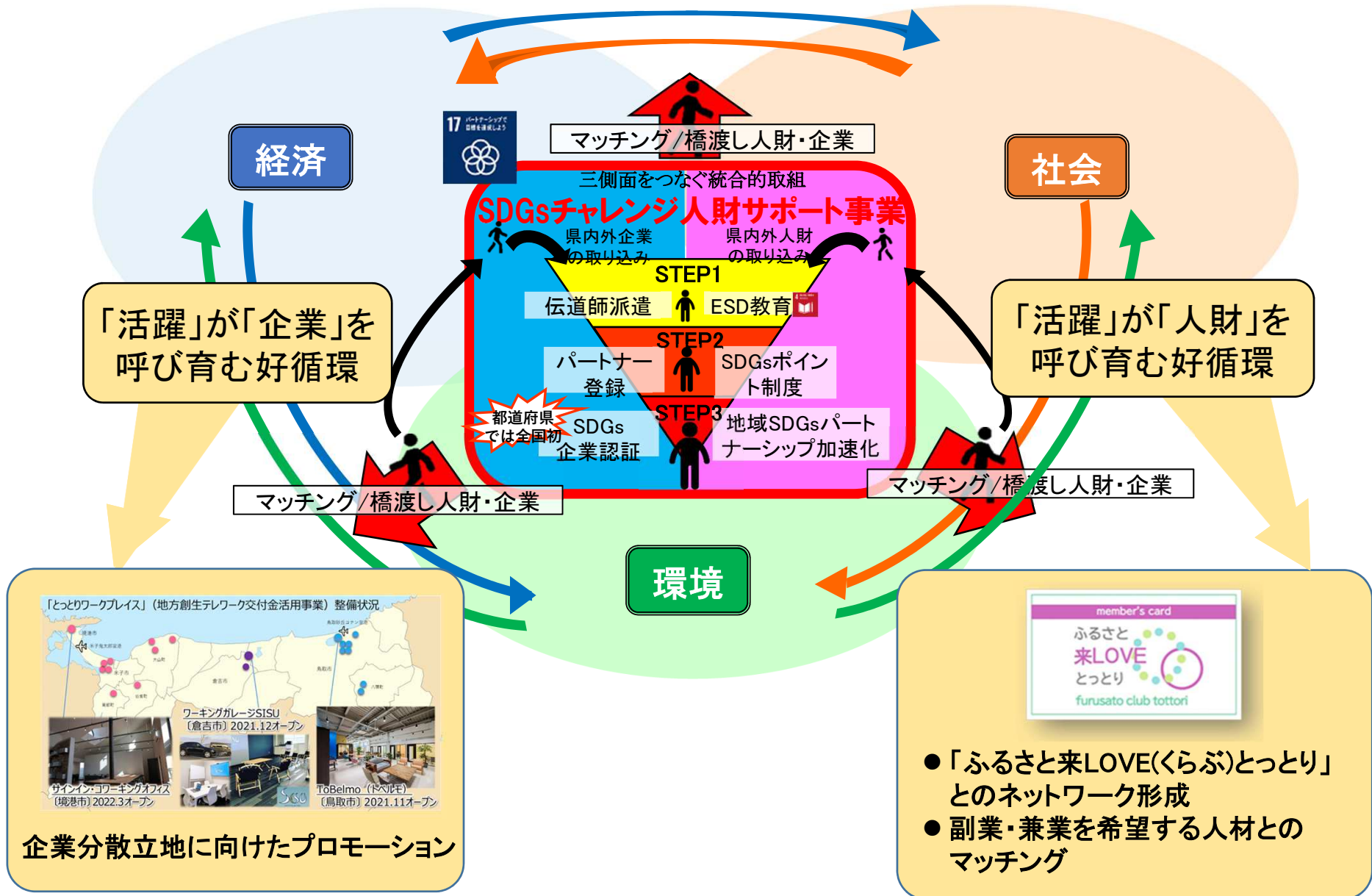




# 経済・社会・環境の相乗効果（新たに創出される価値）



# もう一つの自律的好循環



## 提案まとめ

### 小さくとも持続可能な地域「人づくり王国とっとり」戦略

- 個々の人財・企業力を最大限に活用  
パートナーシップ拡大で持続可能な地域づくり
- 官民連携の人財・企業の育成支援パッケージで  
「自律的好循環」創出へ



ご清聴ありがとうございました